

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！			整理 No.	8								
戦略事業名 (予算事業)	おい若者まちづくり塾（仮称）	担当課	総合政策課										
(おい若者まちづくり塾開催事業)		H28 実績額	1,998 千円										
		H29 予算額	3,113 千円										
事業の概要	<p>本町のまちづくりに興味がある若者を募り、テーマごとに議論を重ねることで、まちづくりについての意識を深めると同時に、次代を担うリーダー意識を醸成する。さらに、議論した内容を、実際の行動に移せる仕組みの構築にも努める。</p>												
これまでの実績	<p>「おい町未来仕掛け人会議」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに興味のある町内の若者9人が定期的に参集 ・年間11回（延べ85人）で、町の課題、地方創生、まちづくり事例について話し合った ・仕掛け人として、レッドシューズへの出店参加を行った 				第1回おい町未来仕掛け人会議（H28.8） 								
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数 (H26 -)</td> <td>(H31) 500人</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	参加者数 (H26 -)	(H31) 500人		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状</th> <th>KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H28末) 85人</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table>	現状	KPI達成率	(H28末) 85人	17%	レッドシューズイベント参加（H29.3） 	
評価指標	数値目標												
参加者数 (H26 -)	(H31) 500人												
現状	KPI達成率												
(H28末) 85人	17%												
今後の取組	<p>引き続き核となるメンバーで「おい町未来仕掛け人会議」を開催する。町の行事やイベントの企画提案や運営に携われる機会を設ける。</p>												
今後のPR・方向性	<p>現在の核となるメンバーが企画運営を行い、若者まちづくり塾の開催に向けて、仕掛け人会議の周知、メンバーや参加者の増が必要。</p>												

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	年間11回の「おい町未来仕掛け人会議」開催により、町の状況や課題を知ることができた。突発的なことではあったが、イベント（レッドシューズ）へ出店し、町の特産品を活用したシシ肉コロケ等を販売する活動実績があった。
課 題	ゴール地点の設定が不透明なこともあり、「おい町未来仕掛け人会議」の存在やテーマ・目標、今後の進め方などを模索している状況が続いている。自分たちで何かを見つけ、それに向かって進んでいくのが理想であり、会の主体性を大切にしなければいけないことから、町にやらされている感覚にならないような町との関係性を築く必要がある。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・未来創生戦略の計画期間であるH31年度末を一定意識した活動計画が必要な面もあると考えられるため、ある程度の締め切りを設け、事務局の進行管理にて進めることも検討。
KPI達成状況・見直し	・現状の推移では目標に届かない状況ではあるが、今後の事業展開により目標の達成も可能。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	他事業においても若い世代の視点を反映できるように取り組まれない。
---------	----------------------------------

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創出戦略！				整理 No.	9
戦略事業名 (予算事業)	若者出会い・交流応援事業		担当課	住民福祉課		
	(若者出会い交流応援事業)		H28 実績額	534 千円		
			H29 予算額	1,468 千円		
事業の概要	結婚を望みながら適当な相手に巡り会えない未婚の男女を対象として、出会い・交流の場を企画実施したイベントの主催団体等に対し補助する。					
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いイベント実施者1件に対して補助金を支給 ・ 「住みます芸人、『飯めしあがれこれにお』と一緒に婚活しませんか？」を開催 ・ 男性9名、女性8名の参加 ・ 3組のカップルが誕生 					
KPI・数値目標	評価指標	数値目標		現状	KPI 達成率	
	出会う場 イベント参加者数 (H26 -)	(H31) 240人		(H29.6) 71名	30%	
今後の取組	補助対象団体数を増やし、イベントの回数を増やすことにより、未婚の若者が出会う機会を増やす。					
今後のPR・方向性	「役場主催のイベント」には町民が参加し辛い傾向があるため、今後、町主催のイベントは縮小し、補助事業を拡大する。補助事業の拡大に伴い、イベントの数も増え、出会う機会を多数提供することができるようになる。また、成婚率をあげるためには、業者委託も検討する。					

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	<ul style="list-style-type: none">・柔軟な発想でイベントを考案できるため、参加者が楽しむことができていた。また、17名の参加者の内、3組カップルができ、成果を出すことができた。・町外からの参加者も多数あったため、そこから次の出会いにつながるができる。
課 題	<ul style="list-style-type: none">・28年度は個人の申請であったが、個人の申請だと、負担がかかりすぎるため、団体への声掛けを積極的に行っていく必要がある。・申請者を町内に絞っているが、町内だと申請団体等の数が少ないので、町外の申請者まで申請可能にすることも検討していく必要がある。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	<ul style="list-style-type: none">・参加者にとってよりよいイベントとするため、イベント終了後、イベントに関するアンケートを行う（質問の内容を回答者に負担のない範囲で充実させる。）など、今後の活動に活用できる資料を得ることを検討すべき。またこの結果をイベントの実施主体と共有することも考えられる。
KPI達成状況・見直し	<ul style="list-style-type: none">・現状の推移では目標達成は難しい状況であるが、継続した取り組みを進める。
その他	<ul style="list-style-type: none">・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	<ul style="list-style-type: none">・地方創生の核心であるとも捉えられるため、今後とも継続的かつ積極的な取組に努められたい。
---------	--

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創出戦略！				整理 No.	10					
戦略事業名 (予算事業)	学生政策コンテスト事業 (官学連携事業)		担当課 H28 実績額 H29 予算額	総合政策課 3,868 千円 6,748 千円							
事業の概要	<p>学生の鋭い目線・感性・考え方によりまちづくりの課題や地域資源を発見し、これまでにないまちづくりを行うことを目的として、大学生等による学生チームを対象とした政策提言コンテストを実施する。併せて、学生と町内の若者等との継続的な交流の発展にも期待する。</p>										
これまでの実績	<p>「おい町学生まちづくり政策コンテスト」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西圏の7大学から9チーム 約70人の大学生が参加 ・フィールドワーク(8/31~9/2)、政策発表会(1/21)を開催 ・若狭高校生徒による審査及びプレゼン、町内若者との交流会も開催 ・最優秀賞の「就農・起業女子応援事業」は、29年度事業化 										
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> <th>現状</th> <th>KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>政策提言数 (H26 -)</td> <td>(H31) 累計35件</td> <td>(H28末) 9件</td> <td>26%</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	現状	KPI達成率	政策提言数 (H26 -)	(H31) 累計35件	(H28末) 9件	26%		<p>おい町学生まちづくり政策コンテスト</p> 
評価指標	数値目標	現状	KPI達成率								
政策提言数 (H26 -)	(H31) 累計35件	(H28末) 9件	26%								
今後の取組	<p>意欲ある町民の方の参画の機会を充実させた「おい町まちづくり政策コンテスト」を引き続き開催する。</p>										
今後のPR・方向性	<p>関西圏の大学生とのきっかけを生み出すとともに、町外の意見による町の新たな気付き・再発見となった。中学生・高校生の参加による町への愛着づくり、まちづくりに思いのある町民の方との協創の場の創出、大学生との交流拡大および町内事業者との連携・ビジネス化、知見を活かした課題解決等につながる仕掛けづくりが必要</p>										

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果

町内で約70名の学生の活動が実現し、未来創生戦略に基づきまちづくりを進める町の意気込みを町内外にPRできた。また、政策提言の実施は途上であるが、町外の学生の目線を町の取組みに取り入れることで、事業展開の多様性や新たな気付きにつながっている。

また、4チーム参加いただいた近畿大学との間で包括連携協定を締結（H29.5）することにもつながった。

課 題

役場主導での事業実施となり、町民の方や町内の事業者の方への広がり改善の余地があるので、他の事業との連携を深めることや、継続的な交流や参画につながる支援方法が必要である。また、政策提言の達成水準にばらつきが見られるので、事業化に際して町側の視線も加えたよりよい事業化ができるようスケジュールや進め方を改善する。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果

・今年度が2年目であることもあり、PDCAを回しながらよりよい事業の実施を進めていくことが求められる。今後の方向にもあるように、住民との協創の場となることも期待できる。

KPI達成状況・見直し

・継続した取組により、目標の達成をめざす。

その他

・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘

今後とも若い世代のアイデアを積極的に活用するとともに、住民や町内事業者また高校生や中学生への広がりを意識して実施されたい。

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！			整理 No.	13-1
戦略事業名 (予算事業)	おおい町戦略的PR事業	担当課	総合政策課		
	(おおい町プロモーション事業)	H28実績額 H29予算額	24,996千円	25,000千円	
事業の概要	本町をたくさんの人に知ってもらい、訪れるきっかけを創出するために、戦略的な広報手段（プロモーションビデオやポスターなどの制作）により、本町の魅力を積極的に発信する。				
これまでの実績	<p>「おおい町プロモーション映像」の制作・放映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町観光PR大使のウーマンラッシュアワーを活用し、町長選挙を題材にPV制作を行い、多くの町民に出演してもらった ・ 大阪の吉本本館でPV完成記者会見を行った（新聞7社、WEBその他3社） ・ PVは、東京アメ横ビジョンや阪急梅田、なんばグランド花月、ルミネ the よしもとで放映 ・ PVを拡散するため、ツイッターアプライを活用（約52万回の動画再生） ・ 町の公式HPで特設HPを作成 				
KPI・数値目標	評価指標	数値目標	現状	KPI達成率	
	動画配信サイト（YouTube）における動画視聴回数（H26 - ）	（H31） 累計100,000回	（H28末） ①YouTube4,744回 ②ツイッターアプライ520,087回	①5% ②520%	
今後の取組	引き続き観光PR大使を活用し、町の魅力アップにつながるPRを行う。H29は、観光PR大使のウーマンラッシュアワーを活用し、町内中学生対象の夢講演会や趣向を凝らした討論会でのアンケート調査、また町勢要覧で季節ごとのPR動画により、訪れるきっかけを創出する。				
今後のPR・方向性	1年目はおおい町の名前を知ってもらうことをテーマにしていたが、2年目以降はプラスαを加えながら、より効果的な事業展開が必要。戦略事業である「おおい若者まちづくり塾（No.8）」のおおい町未来仕掛け人と連携し、若者の意見を取り入れながら事業を展開する。				



当該事業における成果と課題（各課で記載）

成果	評価指標の動画配信サイトは、YouTube での動画視聴回数としており、結果 4,744 回と期待外れではあったが、PV を拡散するために活用したツイッターアプリでは合計 520,087 回の動画再生をカウントした（本編 Ver210,193 回、村本氏立候補 Ver101,381 回、中川氏立候補 Ver115,436 回、当選 Ver93,077 回）。また視聴者数のカウントは不可能であるが、11/3～3/31 の期間中に東京アメ横ビジョンで 26,820 回、阪急梅田で 15,960 回、なんばグランド花月で 73,380 回、ルミネ the よしもとで 565 回の PV 放映を行い、おい町の PR を行った。
課題	町長選挙を題材に、1 年目は村本氏と中川氏の選挙戦、2 年目は当選した村本氏の公約を実現するといったストーリーを想定していたが、諸事情により 2 年目の内容を再考する必要が出てきた。現在、おい町未来仕掛け人会議と連携し、観光 PR 大使ウーマンラッシュアワーと町の未来を考える討論会を計画中である。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・積極的な情報発信とメディアへの掲載により、町を広く PR できた側面の一方で、町に訪れてもらうためのきっかけになったかどうかについては、判断が難しい。今後とも、継続して来訪者のきっかけの把握に努めることも必要。
KPI 達成状況・見直し	・数値目標の捉え方によって達成状況に大きな開きが生じている。事業の目的を再検討するとともに、適切な指標設定をする必要がある。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	より身近で現実的である関西方面への積極的な発信を行ってほしい。
---------	---------------------------------

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！			整理 No.	13-2
戦略事業名 (予算事業)	おい町戦略的PR事業	担当課	商工観光振興課		
	(観光ポスター等作成業務)	H28実績額	4,500千円		
		H29予算額	2,359千円		
事業の概要	<p>おい町出身の芸能人であるウーマンラッシュアワーをポスターモデルとして起用した観光ポスターを作製し、町の認知度の拡大を目指す。</p>				
これまでの実績	<p>平成28年度は、町内においてポスター用の写真撮影を行い、インパクトのあるPRポスターを作成した。 ウーマンラッシュアワーを町の観光PR大使に任命し、東京都の「南青山291」において任命式を行い、多くのメディアにPRを行うことが出来た。また、これまでの掲出場所に加え、東京駅をはじめとするJRの主要な駅や高速道路のSAにポスターの掲出を行い、町のPRに努めた。</p>				
KPI・数値目標	評価指標	数値目標		現状	KPI達成率
今後の取組	<p>平成29年度においても、関西を中心に効果的なポスター掲出を実施し、町のPRに努める。 ふるさと納税の返礼品として活用する。</p>				
今後のPR・方向性	<p>平成29年度においても、関西を中心に効果的なポスター掲出を実施し、町のPRに努める。</p>				



当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	認知度の高いお笑い芸人をポスターに起用し、観光PR大使任命式を東京都の「南青山291」において開催することにより、マスコミを通じてインターネット等で広く町をPRすることが出来た。 また、ファンを中心とする若い世代の人たちにもおおい町に関心を持ってもらうことが出来たと考える。
課 題	平成29年度において、次年度以降に使用するポスターを作成することとしており、出来るだけ町民がポスター制作に関われるような取り組みを考えたい。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・従来と比較しても幅広いエリアにポスターを掲示し、町のPRができたと考えられる。一方で、町の認知度をどのように測るか、あるいは数値的にどのように把握するのかについては難しい面もあることから、他の取組との連携によって効果を上げていくことも必要だと考えられる。
KPI達成状況・見直し	・当該事業に関するKPIが「YouTubeにおける動画視聴回数」のため、当該指標につながるような仕掛けを持つポスター（広報媒体）の作成も考えられるのではないかと。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	・今後はより身近で現実的である関西方面への積極的な発信を行ってほしい。
----------------	-------------------------------------

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創出戦略！			整理 No.	14								
戦略事業名 (予算事業)	いきいきホームページ事業	担当課	電子情報課										
	(ホームページ運営事業)	H28 実績額 H29 予算額	13,039 千円 5,112 千円										
事業の概要	<p>町の宝である自然の紹介をはじめ、町内のイベント情報等を総まとめにして情報発信することで、町の知名度の向上を図る。また、町ホームページに移住サイトを設け、本町への定住につなげていく。</p>												
これまでの実績	<p>平成28年度に町の各種団体等で構成する、おおい町ホームページ利用促進連絡会での意見や要望を反映した、おおい町新ホームページを構築し、現在運用中である。</p>												
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページ (トップページ) へのアクセス数 (H26 -)</td> <td>(H31) 300,000 件</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	ホームページ (トップページ) へのアクセス数 (H26 -)	(H31) 300,000 件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H28) 123,038 件</td> </tr> </tbody> </table>	現状	(H28) 123,038 件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI 達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41%</td> </tr> </tbody> </table>	KPI 達成率	41%		
評価指標	数値目標												
ホームページ (トップページ) へのアクセス数 (H26 -)	(H31) 300,000 件												
現状													
(H28) 123,038 件													
KPI 達成率													
41%													
今後の取組	<p>ホームページへの情報掲載について、関係各課へ積極的な働きかけを行い、情報を充実させていく。</p>												
今後のPR・方向性	<p>町ホームページへのアクセス件数の増加を図るため、住民の皆さんへのわかりやすい情報の提供、おおい町を訪れたいと思わせるような観光イベント情報の配信を関係各課の協力のもと充実させていきたい。</p>												

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	町ホームページを平成29年3月1日からリニューアルし「観光サイト」、「子育てサイト」、「移住定住サイト」、「防災サイト」の4つのサイトを新設、ホームページから登録できる「メール配信サービス」を設けた。また、スマートフォンなどの画面サイズに合わせて最適化する機能を付加するとともに、外国語（英語、中国語、韓国語、ドイツ語、タガログ語）の翻訳機能を設け、利活用しやすいホームページの構築を行った。
課 題	町ホームページのリニューアルを行ったが、アクセス数は以前の数値程度（訪問者数：約 10,000 人/月）で推移している。行政のホームページのため、アクセス数向上のため特別なことはできないが、知りたい情報を的確に提供し、信頼のあるホームページとしていきたい。 一方、ホームページへの記事掲載については、担当課によって温度差があるため、知りたい情報を適切に掲載するよう指導を行っていく。また、ホームページの課題などを協議する庁内会議の設置を検討していく。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・町の情報発信の中核を担う部分であるため、担当課の積極的な取り組みが必要である。またHPの記事は担当者による温度差も見られる。
KPI 達成状況・見直し	・現状の推移を踏まえると目標達成は難しい状況であるが、継続した取り組みを進める。
その他	・広報とHPの連携を含め、若手職員による検討会等により手法等の充実を図るべき。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	KPIの30万件は少ない感じがあるが、まずは達成に向けて取組んでほしい。
----------------	--------------------------------------

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！			整理 No.	15										
戦略事業名 (予算事業)	町内周遊観光プログラムの開発及び実施	担当課	商工観光振興課												
	(グリーン・ツーリズム推進事業)	H28 実績額 H29 予算額	830 千円 510 千円												
事業の概要	<p>おいおいグリーンツーリズム推進委員会が行う、体験型グリーンツーリズムによる町内周遊観光プログラムの企画・実施に対して助成する。</p>														
これまでの実績	<p>平成28年度は「スマイルショットツアー」と題し、写真に興味のある町外の家族にモニターとして参加してもらい、既存の体験プログラム等の体験風景や家族写真を撮影するポイントやテクニックを学べるモニターツアーを実施した。</p>														
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> <th>現状</th> <th>KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周遊観光プログラムの開発数</td> <td>(H31)</td> <td>(H28末)</td> <td rowspan="2">40%</td> </tr> <tr> <td>(H26 -)</td> <td>5件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	現状	KPI達成率	周遊観光プログラムの開発数	(H31)	(H28末)	40%	(H26 -)	5件	2件			
評価指標	数値目標	現状	KPI達成率												
周遊観光プログラムの開発数	(H31)	(H28末)	40%												
(H26 -)	5件	2件													
今後の取組	<p>平成28年度実施の内容を検証したうえで、一般募集のツアーを企画・実施するとともに、新たなツアー内容等についての考察を引き続き行う。</p>														
今後のPR・方向性	<p>参加者を対象にアンケートを実施し、今後のツアー開発に反映できるよう内容等を検証するとともに、今回のモニターツアーで撮影された写真の展示等を計画し、町の魅力やグリーンツーリズム推進委員会の活動等を広く発信していく。</p>														

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果

H28年度は、第1回目10月29日（土）、30日と第2回目H29年3月25日（土）、26日（日）において、「スマイルショットツアー」と題してモニターツアーを実施した。

第1回目は県内2家族、県外1家族の計3家族14名、第2回目は県外2家族6名の参加により、アンケートの実施や、意見交換を行い町内周遊観光プログラムの開発を始めとするツアー実施に向けた情報収集、検証を行うことが出来た。

課 題

新たな観光資源の発掘や、グリーンツーリズム推進委員会のさらなる活性化を図り、より多くのツアー参加者の確保に向けた取り組みを継続していく。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果

・SNS映えを狙った好企画であり、今後参加料を徴収し実施していくに当たっては、明確なターゲットの設定、ニーズの把握が求められる。また、参加者へのアンケートを実施するなど、事業の魅力向上に向けたサイクルの構築に取り組むことも必要だと考えられる。

KPI達成状況・見直し

・目標の達成に向けて、継続した取組を進める。

その他

・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘

（個別に言及なし）

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創出戦略			整理 No.	16							
戦略事業名 (予算事業)	体験農園整備支援事業	担当課	農林水産振興課									
(体験農園整備支援事業)		H28 実績額	899 千円									
		H29 予算額	1,748 千円									
事業の概要	町内の遊休農地を有効活用し、町特産の自然薯栽培用の体験農園を整備することにより、交流人口の増加をめざす。											
これまでの実績	名田庄三重のさきやま農園を活用するため、自然薯栽培用の農園として整備し、自然薯200本を栽培した。 また、関西圏の若者を呼び込み、自然薯の種イモの植付けや収穫作業を実施した。											
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> <th>現状</th> <th>KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験農園利用者数 (H26 -)</td> <td>H31 年度 年間 1000 人</td> <td>H28 年度 100 人</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	現状		KPI達成率	体験農園利用者数 (H26 -)	H31 年度 年間 1000 人	H28 年度 100 人	10%		
評価指標	数値目標	現状	KPI達成率									
体験農園利用者数 (H26 -)	H31 年度 年間 1000 人	H28 年度 100 人	10%									
今後の取組	(平成29年度)本郷地区に自然薯栽培用の体験農園を整備し、町特産の自然薯の更なる生産拡大と交流人口の増加をめざす。											
今後のPR・方向性	町内の2ヶ所(本郷、名田庄三重)で体験農園の整備を進めている。体験農園については、町が協定を締結している近畿大学などの学生の農業体験の場として今後とも活用するとともに、特に名田庄三重のさきやま農園については、自然薯栽培用の体験農園として区画化を行い、町内外から自然薯を栽培していただける方を募集し、交流人口の増加をめざす。											

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	<p>休耕水田となっていた名田庄三重のさきやま農園を、排水対策などを実施し、自然薯栽培用の体験農園として整備した。自然薯の種イモ植付けや収穫作業は、関西圏の大学生等の協力を得て実施し、交流人口の増加と更なる町の活性化につなげることができた。</p> <p>また、休耕水田に排水対策を行うことで、自然薯約180本を収穫することができ、一定の成果を得ることができた。</p>
課 題	<p>名田庄三重の「さきやま農園」の今後の有効利用を図る必要がある。</p> <p>体験農園の拡張に伴い、農園の管理方法や農園利用者の確保などを図っていく必要がある。</p>

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	<p>・体験農園による交流人口の増加に主眼を置くのであれば、ホームページでの情報発信やパンフレット・リーフレットの作成など、PRを進める必要がある。また、住民の方への貸農園、多品種化も有効ではないか。</p>
KPI達成状況・見直し	<p>・目標達成は厳しい状況、内容、周知方法を工夫した取組を進める。</p>
その他	<p>・特になし。</p>

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	<p>（個別に言及なし）</p>
----------------	------------------

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！			整理 No.	17								
戦略事業名 (予算事業)	おおい町の魅力を発掘・発信！講座 (観光振興対策事業)	担当課 H28 実績額 H29 予算額	商工観光振興課 221 千円 － 千円										
事業の概要	<p>(一社)おおい町観光協会が、町イベントサポーター等に対し、町内の観光情報について、講座を実施し、町への理解・愛着を深めていただくとともに、講座により取得した情報をSNS等により広く対外的に発信していただく。</p>												
これまでの実績	<p>すでに登録されている町イベントサポーターをはじめとし、イベントサポーターに興味のある参加者を募り、情報発信や新たなイベントサポーターの確保につなげるための「町内魅力発見事業」を実施した。</p>												
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベントサポーター数 (H26 -)</td> <td>(H31) 300人</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	イベントサポーター数 (H26 -)	(H31) 300人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状</th> <th>KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H29.6) 41人</td> <td>13.7%</td> </tr> </tbody> </table>	現状	KPI達成率	(H29.6) 41人	13.7%			
評価指標	数値目標												
イベントサポーター数 (H26 -)	(H31) 300人												
現状	KPI達成率												
(H29.6) 41人	13.7%												
今後の取組	<p>新たなイベントサポーターの増員を目指すための事業の検討</p>												
今後のPR・方向性	<p>新たなイベントサポーターの増員を目指すための事業を検討する。</p>												

町内魅力発見事業に参加しませんか?

平成28年 11月19日(土)～20日(日) 14:00におおい町役場前集合

現在、既に登録されているイベントサポーターの皆さん及びイベントサポーターに興味のある方に、おおい町にお越しただき、町の魅力を体験していただくことにより町の魅力発見につなげてもらうことを目的として、イベントサポーターの増員につなげることを目的とします。

申込み締切 / 11月9日(金) 先着20名様
<http://www.wakasa-oh.jp/>
参加費 / 無料 (今回体験したことの情報発信をお願いします)

19 日 におおい町役場集合(14:00) → 一宮川・滝川で竹藪漁体験(14:15～16:15) → 備前川/稲刈(17:00) → 地区の文化体験を予定しています

20 日 宝出牧(16:30) → 八月稲刈体験(17:00) → 本町の歴史館 福命館等施設見学(17:30～18:30) → 七福山温泉(18:30～19:30) → おおい町役場集合(19:40) → 道の駅うみんぴあにて昼食(12:45～13:30) → おおい町役場集合(19:40)

(一社)おおい町観光協会へお申込みください。
TEL.0770-77-1734 FAX.0770-77-1784

町内魅力発見事業参加申込書

お名前	姓	名	性別	男・女	籍地	青・県
ご住所	〒	市町村	番	号	郵便番号	
	TEL	電話番号				

FAXでお申込みの方は、申し込み用紙を添付し、そのまゝFAXに送ってください。 FAX.0770-77-1784

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	平成 28 年 11 月 19 日（土）20 日（日）において、1 泊 2 日で「町内魅力発見事業」を実施し町内外から 9 名の参加者を受け入れた。
課 題	既に登録済みのイベントサポーターに向けた事業開催の情報発信も行ったが、思うように参加していただくことが出来なかった。 事業実施にあたっては、広報の仕方や事業内容をさらに充実させる必要がある。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・ 29 年度は事業を実施しないが、今後の類似の取組み等では内容の見直しが必要。他の事業と組み合わせて獲得したサポーター自身の発信を促すしくみを検討することが必要。
KPI 達成状況・見直し	・ メールの利用者自体が減少しており達成については難しい方向。事業内容と合わせて見直し。SNS の活用も視野に入れる。
その他	・ メール配信は、新しいHP の配信システムに統合すべき。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	（個別に言及なし）
----------------	-----------

戦略区分	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創出戦略！			整理 No.	18												
戦略事業名 (予算事業)	Wi-Fi 環境整備事業 (-)	担当課 H28 実績額 H29 予算額	電子情報課 ※1,599 千円 0 千円														
事業の概要	<p>町内の Wi-Fi 環境を整備することで、観光客の利便性向上及び観光客誘致を促進すると共に、災害時の避難所などへ設置を進める。</p>																
これまでの実績	<p>公民館や図書館など町が整備したもの、県で整備された「こども家族館」、指定管理者等が整備した「道の駅うみんぴあ」など14箇所で整備され、サービスが提供されている。 (※H28実績額は、公民館、図書館設置経費分)</p>			<p>Wi-Fi 機器設置例 (子ども家族館)</p>													
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> <th>現状</th> <th>KPI 達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町内施設の Wi-Fi スポット整備箇所数</td> <td>(H31)</td> <td>(H28)</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>(H26 1箇所)</td> <td>20箇所</td> <td>⇒ 14箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	現状	KPI 達成率	町内施設の Wi-Fi スポット整備箇所数	(H31)	(H28)	70%	(H26 1箇所)	20箇所	⇒ 14箇所					
評価指標	数値目標	現状	KPI 達成率														
町内施設の Wi-Fi スポット整備箇所数	(H31)	(H28)	70%														
(H26 1箇所)	20箇所	⇒ 14箇所															
今後の取組	<p>災害時の避難所、観光施設や官公署などに設置するよう関係機関等と調整を行い、整備に向けた取り組みを行う、</p>																
今後の PR・方向性	<p>平成30年度当初予算案に予算化できるよう、施設管理担当課と Wi-Fi 認証方式や効率的な予算の計上方法など調整等を行っていく。</p>																

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	Wi-Fi 整備が図られることにより、災害時の避難所における町民の情報連絡手段の多様化が図られる。また、観光施設への Wi-Fi 整備により、観光客の利便性の向上が図られる。
課 題	Wi-Fi 整備については、複数の課が関係する事業のため、認証方式等を電子情報課にて統一し、Wi-Fi 整備の理由、利便性の検討を行っていく。 近年、豪雨などの災害が多く発生していることから、避難所、官公署への設置を前倒しして実施していく。 また、民間の Wi-Fi 設置の広がりについても検討していく。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・ Wi-Fi 整備を取り巻く状況が変化を続けているので、民間の整備への支援も含めて整備を広げることが求められる。
K P I 達成状況・見直し	・ 目標達成は可能と考える。
その他	・ 特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	（特段の言及なし）
---------	-----------